



* 少子高齢化社会が進行し、高齢者が社会の中で生き生きと生きられる環境が求められています。解決しなければならない人権課題はまだたくさんありますが、その中の一つである『高齢者の人権』について考えてみたいと思います。

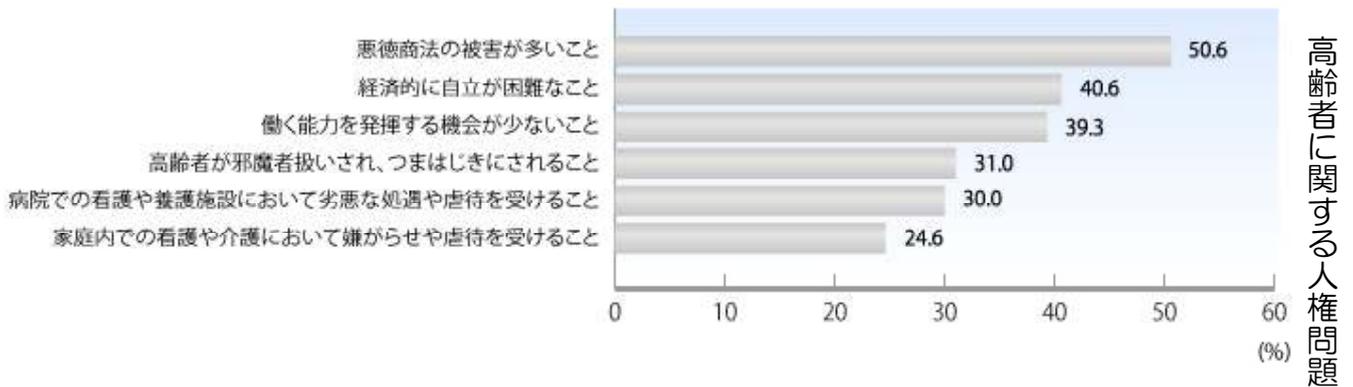
「高齢者の人権を考えてみましょう」

内閣府が実施した「人権擁護に関する世論調査」によると、高齢者に関してどのような人権問題があるか聞くと「悪質商法や詐欺の被害が多い」「働く能力を発揮する機会が少ない」「邪魔者扱いされ、つまはじきにされる」などが挙げられており、様々な場面で生じていることがうかがえます（下記参照）。

高齢者に関する人権問題

(複数回答)

総数=1,864人



高齢者に関する人権問題

また、高齢が理由で障害者となった人への差別として、「じろじろ見られたり、避けられたりする」「差別的な言動をされる」などの人権問題があるという回答が多くなっています。

出典元：内閣府「人権擁護に関する世論調査」（平成24年8月）より抜粋一部改

さて、それでは、私たちはどのようにこの問題をとらえなければならないのでしょうか。この世の中に存在する人権侵害に、共通していえることですが、人権侵害の裏側には、「人権とは何か」という知識や、「自分の人権とともに他人の人権を守らなければいけない責任がある」という認識が不足しているということです。

「わたしたちもおじいちゃんやおばあちゃんたちも、自由に、豊かに、楽しく生きていく権利がある。わたしたちは、それを侵害してはいけない。」という人として本当に基本的な考え方をきちんと理解すべきです。大人は、そのことを子供たちに伝えるべきだと思ふのです。

日光市では、高齢者の方々が元気で自立した生活を送ることができるように、各種福祉サービスを行っています。私たち一人一人が人権について理解して、行動することで、さらに高齢者が住みやすい町をともに目指していきましょう。

